



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター

Newsletter No.58 (2018.1.15)



西南大学、ハワイ大学マノア校、オルレアン大学、モスクワ大学

語学センターが短期語学研修窓口になりました

本学では夏季休暇中に短期語学研修^(注)が実施されており、これまで国際学部分室と国際交流推進センターで担当していた窓口業務が、今年度から語学センターに移行されました。

各短期語学研修は教員が引率をし、参加者は各受入大学で行われる語学研修を受けるだけではなく、大学での授業参加や、ホームステイ、寮生活を通しての貴重な経験、更に行き先の都市で文化や歴史を学ぶ機会にも恵まれます。また、短期語学研修に参加して条件を満たせば、国際交流演習、または国際研究特講の単位取得ができます。長期の派遣留学を目指す学生にとってはとても良い足掛かりとなるプログラムで、短期語学研修に参加してから長期派遣留学を決意する学生もいます。

以下に各研修の参加者の体験談を一部ご紹介します。(全文は大学ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。)

(注) 2017 年度までの名称「短期語学研修」は 2018 年度募集から「短期語学留学」に変更されます。

目次：

語学センターが短期語学研修窓口になりました	1
図書館・語学センター棟 階段クイズ	2
エストニア語について思う	
芸術学部デザイン工芸学科 有持旭先生	2
後期 いちだい知のトリアスロン映画上映会	2
私はどうとう接吻しているのだった	
ブルースト<<マネ<<レジャーヌの肖像>>	
名誉教授・芸術資料館もと館長 大井健地先生	3
平和への想い“シリア難民を通じて”	
国際学部 小林愛里さん	4
夏季休暇期間、市大英語 e ラーニング講座開講	4
視察・オープンキャンパス報告	4



アメリカ ハワイ大学マノア校 情報科学部システム工学科 3年 森本隆志

私は今回、夏季休暇を利用してハワイでの語学研修に参加させていただきました。研修内容はハワイ大学での授業やホームステイ、アリゾナ記念館やビショップミュージアムへの訪問など、多岐にわたるものでした。

私は将来、可能ならば海外とつながるような仕事がしたいと思っているので、そのための国際感覚を磨くうえで、非常に良い経験になったと思います。長期留学などを考えている人は、その前のステップとして、ぜひ参加してみてください。担任してくれた Freddy に、英語を学び続けることの大切さを学んだので、これからも忘れずに努力していきたいと思っています。



卒業式で担任の Freddy と



中国 西南大学 国際学部 2年 宮本和果

私は今年の夏に3週間中国の西南大学に短期留学に行きました。

中国での生活は、毎日がとても充実していたように思います。中国に行く前は、かなり不安でしたが、実際に行ってみると、想像以上に良い場所でした。3週間が本当にあつという間で、もう少し長く滞在したかったと帰る前はずっと思っていました。3週間という短い期間だったので語学はあまり上達していませんが、外国の文化に触れ、外国人とたくさん交流できたことは私にとってとても良い経験になりました。今は中国語の勉強を頑張っており、中国語の検定に合格するのが目標です。今回中国に行き、中国語の勉強に対するやる気が起こったので、本当に行っただけよかったと思っています。



西南大学日本語学科の学生と研修参加者



フランス オルレアン大学 国際学部 2年 橋川万李奈

フランスのオルレアン大学の研修では、フランス語を学びながら、歴史や文化などを学ぶことができました。また、1か月という短い期間の中で、短いからこそ、そこでしかできない経験をしようと積極的に行動できました。そして、マダムとの会話ではフランスについて教えてもらう一方、日本について聞かれることも多く、自分の語彙の少なさや日本についての知識不足を知るいい機会にもなりました。日本に帰ってからも今回の経験を生かして、日本でできることを見つけ、積極的に挑戦しながら、これからも継続してフランス語や母国である日本についての知識を身につけていきたいです。



アンボワーズのスイーツショップで

▶ 2017 年度 短期語学研修実施状況

	担当(引率) 教員	参加者	実施期間	科目名	単位
西南大学	国際学部 欒竹民教授	5名	9/6~9/27 (21日間)	国際交流演習Ⅰ・Ⅱ	2単位
ハワイ大学	国際学部 井上泰浩教授	12名	9/3-9/17 (14日間)	国際研究特講Ⅰ	2単位
オルレアン大学	国際学部 大場静枝准教授(往路) 国際学部 倉科一希准教授(復路)	10名	8/25~9/24 (31日間)	国際研究特講Ⅰ・Ⅱ	4単位

今年度はモスクワ大学(科目名:国際研究特講Ⅰ、単位:2単位)の実施がありませんでしたが、来年度の募集はあります。短期語学留学の合同説明会は、1月24日(水)3限に語学センター403B教室で開催します。実際に参加した先輩の体験談も聞くことができます。詳しくは掲示をしますので、興味のある人はぜひ参加してください。

Find your phrase 図書館・語学センター棟

3つの英会話フレーズを覚えられる階段クイズ



(左) 語学センター・図書館棟1階入り口
(下) 気になる答えは次の黒板に掲載。



10月17日から図書館・語学センター棟で、3つの短い英会話フレーズを紹介する、階段クイズを実施しています。

クイズは1階入り口の黒板からスタートし、4階までの階段の各踊り場の黒板へと続きます。上り方向では日本語から英語、下り方向では英語から日本語を考え、次の黒板でフレーズを確認できます。

国際学部山口光明教授（健康心理学）によれば、「階段の昇り降りでの振動は、脳の延髄部分に程よい刺激となって働き、記憶の効果を高めるとい研究があります」とのことです。

脳に良い階段を使って、英会話フレーズも増やしましょう。

安全のため、混雑時は踊り場で立ち止まらないようご注意ください

ミニコラム 外国語に想う【49】

芸術学部デザイン工芸学科
講師 有持 旭

エストニア語について想う

言葉は、歌と密接に関わるものです。そして歌はその国の文化を大きく表しています。

エストニアでは、1989年によりやくエストニア語が使用言語として法で定められました。わずか30年弱前の話であり、その後、歌を歌うことでソ連占領下から独立した歴史を持っています。人口130万人程の小国エストニアでは、歌を大切にしながらも自分たちの言葉がいつ無くなってもおかしくないという危機感を抱いています。さらに、格が14個あるエストニア語は世界のなかで習得難易度が高いため、同じ欧州の他国民ですら話せる人は殆どいません。国民はこうした現状を十分に受け止め、積極的に他言語を習得し、そこから日常生活や国際交流を行っています。こうした言語に対する意識は、世界とのコミュニケーション・ツールに展開しています。数名のエストニア人が生み出したSkypeが良い例でしょう。



私はこのようなことにエストニアの国民性が表れているように思います。思い返せば、こうした土壌の中で、私がエストニアの首都タリンに移住し、国立芸術大学大学院の客員研究員を始めた頃、毎日カフェでレジに近い席に座り、常連さんとの会話に耳を傾け言葉を覚えていった日々は、今日までのエストニアとの文化交流の継続における初歩的な第一歩だったと言えます。

エストニア人は世界で最も友達が作りにくい国民だという意見を耳にします。確かにシャイで無駄口はしません、お酒を飲めば陽気になる性格です。こうした距離感は日本人と似ているように思います。ぜひエストニアを訪れて、路上で歌っている民謡やバーで聞くユーモアなど様々な表情を持つエストニア語に触れてもらいたいです。



2017年度後期 いちだい知のトライアスロン映画上映会開催



テーマ **イギリス映画で考える争いと和解、階級と人種**

12月4日（月）～12月8日（金）に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部の大場静枝先生にご協力いただき、国際学部専門科目「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で行いました。非常勤講師の吉本和弘先生（イギリス文化論、英語聴解法ご担当）に映画を推薦していただき、7本の作品を日替わりで上映しました。

来年度も上映会の開催を予定しています。詳細が決まり次第、掲示やHPでご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

テーマ : イギリス映画で考える争いと和解、階級と人種
上映映画: 「ロミオとジュリエット」「炎のランナー」「日の名残り」
「太陽の帝国」「博士の異常な愛情」「テンペスト」

*番外編: 「プチ・ニコラ」
(国際学部講義「言語・コミュニケーション研究入門」で使用)



私はとうとう接吻しているのだった

プールの《マネ《レジャーヌの肖像》》（『失われた時を求めて2スワン家のほうへII』）
岩波文庫版カバーより

大井健地（名誉教授・芸術資料館もと館長）

前回の、避暑地の海辺ホテルでの接吻拒否話は憶い出すだに痛快、ねちっこく緻密な大長編のなかで格別に清々しい一場だった。男女のからみとか、いわゆる濡れ場の叙述をプールのに期待してもそれは詮ないけれど、小説の節目節目にヒーロー、ヒロインのラブアフェアが刻まれる。『失われた時を求めて』全編の構成においても恋愛は軸であり芯である。次はその直截な極め。

「おお、合体しようとする『男』と『女』の姿態は、なんと偉大なことだろう。それこそ、『天地創造』によって引き離された者が、汚れなき原初の日々の粘土のごとく謙虚に合体しようとする姿態」（10巻173頁）だとプールは表現する。

それはまるで（突飛なようだが、実は全然突飛ではないのだよ）「古事記」の例の国生みのくんだり、「成り成りて成り合はざる処一処在り」、神たちの人づくりの状景である。

ところで、この個所の数行前には、女を「二枚貝の貝殻 deux valves」、男を「壁からとり外された彫像になおも残る鉤釘 crampon」と比喩している。この「クランポン」

というフランス語は広辞苑にも項目が立っていて「アイゼンに同じ」とあるが、味わうべきはその懐かしい音で宮澤賢治にも出てきそうな語感とも思うがどうであろうか。プールも賢治も詩的なものの発見が科学的な、学術的な専門用語の分野にもわけへだてなく探究のまなざしが及んでいるのは共通する。プールの場合はことに医学がなじみの科学的領域であった。父も弟も医者だ。本人は患者だ。9歳の発作以来の喘息患者。

「海については水夫が、狩人については獲物が、病気について〔の知識〕は医者でなくとも往々にして患者が備えている」（7巻47頁）の文を僕の記憶は「海のことは漁師に、山のことは猟師に、人間の病気のことは医者ではなくて患者に聞け」と誤解していたが、プールは臨終に到るまで医者の言うことを信用しなかった。『失われた時を求めて』はブルジョアのスワン家と貴族のゲルマント家の一族郎党の寿命いっばいの生存譜の史の様相を示すとともにこれに相反して祖母、スワン、サン＝ルーなどの死者の個別の荘厳と生命の輝きを記録する長編ともいえる。恋を軸にも芯にもした哲学小説はまた人命に関わって病いや老いの問題を見すえた医学小説の一面を見せる。登場する医者の数も多い。病人プールは家業としての医学と病気になじみと、時に意地悪い皮肉

な見方にもなる客観性をもっている。またさらに高齢の闘病者にとっても良き読み物となるのである。

医学や生物学の見地で人の愛が語られるとどうなるか。プールは接吻を語るのに「器官」の語を用いている。

ウニやクジラと比べて一段と進化した生物である人間でも、接吻に有用な器官を持っていない。

「この欠けた器官を唇によって補っているので、愛する女性を角質化した牙で愛撫せざるをえない場合よりは、いくらかは満足できる」かも。「唇は孤独で、ずいぶん前から視線にも、ついで嗅覚にも見放されている」。「鼻孔と目の位置も不適切である——突然、目が見えなくなり、ついで鼻が押しつぶされ」「私は、とうとう自分がアルベルチヌの頬に接吻しているのだと悟った」（7巻60-63頁）。

ようやく、接吻実現に至るまでが長い。ずっと講釈が続いた。7巻冒頭「その日は秋の単なる日曜日にすぎなかったが」からじつに42頁かかって、やっと「とうとう」である。

プールの原稿の出版を断った出版人が「冒頭部、眠るまでの寝床での反転のさまに30頁費すのがわからない」と理由をあげたことを思い出す。

広辞苑で「吻」を確認してみると「動物の口またはその周辺から突出した管状構造、または突出しうる伸縮可能の構造。象の鼻の先端、昆虫の吸い型口器の類」とある。プールは仏 (baiser, embrasser) 英 (kiss) でなく日本語で考えたか。なお「接吻」は「幕末に作られた語」とある。福沢諭吉ならどうしたか、未調査。

ともあれ前回「あんなに険しい顔をして拒んだこと」は今、許された。この日の表情と以前の顔つきとの相違は傑作肖像画と劣悪肖像画の差だ。「好意あふれる従順な子供を想わせる率直な顔」になり、「初々しくなった目鼻立ちは乳児期のような無垢をとり戻していた」（同65頁）。

そんな顔がここにある。岩波文庫版2巻カバーの、プールが友人宛書簡に描いた絵。マネの偽画。レジャーヌは著名な女優。同書巻末「図版一覧」に記者の解説有。シンプルな横向き、点の眼、円筒形の首などによって僕はプールがイメージしたのは、マネ《美しきウィーンの女性（イルマ・ブリュネルの肖像）》（1880-82年 紙・パステル ルーブル美術館蔵）だろうと推測します。



語学センター廊下ギャラリー初！学生主催のパネル展を開催

2017年11月21日～11月24日の期間中、語学センター廊下ギャラリーにて、初の学生主催によるパネル展が開催されました。国際学部4年の小林愛里さん、竹本彩夏さんが、シリアの難民キャンプで働くJICA青年海外協力隊と協力し、「旅する千羽鶴 一見る、伝える、つながる、描く、シリア。」の展示を招致しました。この巡回写真展は、日本各地を巡り、最終地の長崎で平和公園に子ども達の千羽鶴を奉納することになっています。小林さんに、シリア難民との出会いで感じたこと、平和への想いについてメッセージを寄せていただきましたのでご紹介します。

平和への想い～シリア難民を通じて～

国際学部4年生
小林 愛里



語学センター廊下ギャラリーでの展示の様子

シリア内戦によってほとんどのシリア人が誰かしら家族を亡くしている。家族を何よりも大切にするアラブの人々。シリア人は私たちには想像もできないような苦しみを抱え、それぞれの場所で生活を送っている。私は、今年5月から9月までヨルダンに滞在した。その間、シリア出身の都市難民の家庭を訪問し彼らの生活状況、悩みなどを聞いて回る活動に参加した。「難民」というと難民キャンプで暮らしている人たちを想像するかもしれないが、ヨルダンに暮らすシリア難民の8割は「都市難民」と呼ばれ、キャンプを出て都市で暮らしている。毎回の訪問の最後に今一番の願いは何かと聞くと、「戦争が終わってシリアに

帰ることだ」とみんなが答える。この言葉を聞いた時、シリアのために何かしたいと思う一方、彼らの一番の願いを叶えることはできない、私にできることはあるのだろうかというモヤモヤとした感情に襲われた。

そんなある日、あるシリア人に私が広島出身だということを伝えると、「あの原爆から立ち直った街だよね。シリアもいつか広島みたいにまた、きれいな街になるといいな」というようなことを言われた。この言葉を聞いて私は、「シリア人は日本の歴史を知っているのに、私たちはシリアの現状をほとんど知らない。まず私にできることは、日本の人たちにシリアについて知ってもらうことではないか」と思った。

今回の広島市立大学での『シリア、平和の展示』は、ヨルダンからの帰国後、私が初めて参加したシリアのことを知ってもらうためのプロジェクトだった。JICA青年海外協力隊の方々主催のもので、展示の内容は内戦前のシリアの風景、難民キャンプの子供たちが作った千羽鶴と平和に向けたメッセージなど、シリア難民キャンプから届いた「平和への想い」を日本各地へ届けるものだ。「遠いと思っていたシリアを身近に感じた」「シリアについてもっと知りたいと思った」というような感想を寄せていただき、大変嬉しく、これから自分のできることを模索するとてもよい機会になった。



シリアの子供たちが折った千羽鶴

●夏季休暇期間、市大英語 e ラーニング講座開講

前年度に引き続き、今年度も夏季休暇期間に語学センター自習室の一部ブースが市大英語 e ラーニング講座（公開講座、平成29年度第2期）受講者に開放され、熱心に学習に取り組まれる市民の方姿が毎日見受けられました。8月14日（月）から9月22日（金）までの期間中、講座受講者の自習室使用延べ人数は54名でした。

●視察・オープンキャンパス等報告

11月10日 レンヌ第2大学（教職員2名）
11月27日 ヴァインガルテン教育大学（教職員3名）
12月12日 広島市立美鈴が丘高等学校（16名）
12月25日 広島市谷副市長

発行日	2018年1月15日	Phone	(082)830-1509
発行	広島市立大学語学センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1	Fax	(082)830-1794
編集	堀本真由美、加藤美奈（内線：6410）	E-mail	lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
		ホームページ	https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html